

## 福祉コース導入決まる



現在行われている福島県議会十二月定例会の代表質問において、県立高等学校普通科におけるコース制の導入の取組に関する質問があり、県教育長より医学、保健・医療、教員養成、福祉のコース制を令和四年度より導入していく旨の答弁がありました。

その後、県教育長より、本校に令和五年度より福祉コースを導入する旨の通知がありました。

県立高等学校改革前期実施計画に基づきすすめられるコース導入は、職業観や基礎的な素養を養い、目的意識を持って、将来本県で活躍できる人材を育てるという目的があります。

導入されるコース制は、同一の進路希望を持つ生徒を対象とする教育プログラムと位置付けられており、授業や長期休業中において、体験学習、特別講座及び講演会等を実施していくこととなります。

また、実施形態は、クラス単位又はクラスを分割したコース制の他に、学校、学年及びクラスを横断したコース制などが想定されており、どのような形態で実施するかについては本校の実態に合わせ今後検討して参ります。

もちろん、コース制の取組において施設等と連携した取組を行うことにより、先進的、専門的な教育プログラムの充実を図り、

高校生の職業観、進路意識を醸成する必要があります。

さらに、本校が導入する福祉コースの概要として、次の二点が示されています。

1 福祉関連の基礎・基本を学習するとともに、福祉施設での実習等を通して地域との関わりを深め、福祉社会で活躍できる生徒の育成を目指す。

2 福祉系への進学対策を推進する。  
令和五年度に向け、よりよいプログラムが提供できるよう、しっかりと検討を重ねて参ります。

## 潜在的特色の顕在化

本校は、介護・高齢者福祉の面に関して言えば、今現在、三年生の進路確定者のうち、約二十三%が保健医療・福祉サービ  
ス分野への就労を決めています。



また、特別な支援に関して言えば、校舎をとにもするくぼ  
た校との交流により、ともに暮らし、地域の一員としてともに生きる社会を考える機会を作っています。

さらに、福祉一般については、関の子ボランティアなどの活動を推進し、地道ではありますが社会福祉基盤の整備を体験し、自立した生活をサポートする視点を養っています。

今回のコース制導入に関しては、本校が潜在的に持っていたこうした特色がようやく顕在化すると感じています。

仙田ノモ



「おい、有紀！」拓哉が私の右肩を叩く。はいはい、振り向いたら指で頬をつついて、引っかけたさうっていうやつね、おまえは中学から成長してないのか、ったくもう……。右肩か、じゃあ左向きで……。えっ？「引っかけたさう」少しは成長したようだな、拓哉。って、私の頬に触れたのは指じゃなくて、ポスターカラーのついた刷毛じゃないか！「た・く・やく！」逃げるなら、おまえの顔にも塗ってやる！」

「ちょっと、拓哉も有紀もなにやってんのよ、体育祭の準備進まないじゃない！」紗英が割って入った。十二月は終業式前日に体育祭がある。今日からその時使うクラス応援旗を制作しているのだけど、紗英のようなクラス委員メンバー以外は、夕方遅くまで学校に残ってウダウダしいって連中だから、ふざけあってばかり、作業は進まない……。

紗英と私は小学校以来の幼なじみ、小さい頃からロングの髪を揺らす紗英は、簡単洗髪というママの理由でショートボブオンリーの私と性格も（成績も）正反対なのに、なぜか仲がいい。拓哉は中学一年のとき転校してきて、そんな私たちの間の席になったのが運の尽き、そろって同じ高校に進学し、帰り道も三人一緒という腐れ縁だ。

「みんなごめん、塾の特別講習が準備と重なっちゃって、毎日途中で帰ることになっちゃうんだけど……」紗英が教卓の前でぺこりと頭を下げた。「おっけ、デザインから絵の具調達まで、紗英頑張ってくれたから、大丈夫」「行ってこい、受験勉強頑張れよ」みんなが声をかける。

「ちょっと拓哉さ、紗英を送って行きなさいよ、あんた、彼氏でしょ！」「ああん？俺今ちょっとムリさ」振り向いた拓哉の顔は目の周りを黒く塗って、まるでパンダだ。男子四人で教室の隅でこそそこそ何をやっているのかと思えば、パンダ四頭ご誕生。互いの顔を見て大笑いしてる。子供だ。子供過ぎてめまいがする。

「紗英、ごめん、あんな子供みたいになつとつきあわせちゃって」高校一年の時、拓哉がどうしてもって懇願するので、紗英をムリに口説いて恋人同士にしたけど、拓哉がまさかここまで成長しないとは。「昇降口まででも送らせて」という私に紗英は「あれでも少し優しいところあるのよ、それよりクラス旗お願いね、それと拓哉も」ニコッと笑って教室を出て行った。神対応の紗英を見送り、振り返ると教室にパンダ。シュールすぎてため息しか出ない。

「ただいま、ママ、セーラーの襟にポスターカラーついちゃって、洗わないと……あつ」ママがこちらを向いて唇の前に人差し指を立てた。時計を見るとちょうど八時。ラジオの時間。ママが若かった頃の曲をチヨイスするお気に入りのCDの時間だ。私も指を立ててそつとママのそばに座る。

今日はクリスマスソング特集。雨が夜に雪に変わるってこの時期の定番ソング以外は知らない曲ばかり。ママったらウルウルして聞いている。ママの少女みたいな反応を見るこの時間が私は好きだ。（つづく）

## 校長のつぶやき

号外って裏は白紙が普通ですけど、もったいないので、急遽、新連載始めました。構想三十分、週末の半日でとりあえず一回分書き下ろしましたが、第二回まだできてません（汗）。執筆の経緯は次号で説明しますね。

（本紙中のイラストは「いらすこや」WEBよりお借りしています。）